

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 10 月 14 日 (2021.10.14)

【公開番号】特開 2020-151185 (P2020-151185A)

【公開日】令和 2 年 9 月 24 日 (2020.9.24)

【年通号数】公開・登録公報 2020-039

【出願番号】特願 2019-52323 (P2019-52323)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 0 5 C

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 31 日 (2021.8.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

キャビネットと、
表示窓を有する扉と、
前記扉の裏面側の所定位置に配置される所定の基板と、
前記所定の基板を保護するカバーと、
リールテープと、前記リールテープが巻き付けられるリール基部と、前記リール基部を
回転させるモータと、前記モータが固定されるモータ固定ベースと、を少なくとも含むリ
ールと、
前記リールが複数個並列に固定されているリールユニットと、
複数の前記リールを前記リールユニットにそれぞれ固定するための複数の係止部品と
を備え、
複数の前記リールのうち所定のリールと、前記リールユニットと、が前記複数の係止部
品のうち所定の係止部品によって前記所定のリールを構成する前記リールテープよりも上
方で固定されており、
前記所定の係止部品の長手方向の長さ m と、前記所定のリールを構成する前記リールテ
ープから前記リールユニットの上部内壁までの最短距離 n と、の関係が $m > n$ となってお
り、
前記所定の係止部品の長手方向の長さ m と、前記扉が施錠されている状況における前記
所定のリールを構成する前記リールテープから前記カバーまでの最短距離 g と、の関係が
 $m < g$ となっている
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明に係る遊技機は、キャビネットと、表示窓を有する扉と、前記扉の裏面側の所定

位置に配置される所定の基板と、前記所定の基板を保護するカバーと、リールテープと、前記リールテープが巻き付けられるリール基部と、前記リール基部を回転させるモータと、前記モータが固定されるモータ固定ベースと、を少なくとも含むリールと、前記リールが複数個並列に固定されているリールユニットと、複数の前記リールを前記リールユニットにそれぞれ固定するための複数の係止部品とを備え、複数の前記リールのうち所定のリールと、前記リールユニットと、が前記複数の係止部品のうち所定の係止部品によって前記所定のリールを構成する前記リールテープよりも上方で固定されており、前記所定の係止部品の長手方向の長さ m と、前記所定のリールを構成する前記リールテープから前記リールユニットの上部内壁までの最短距離 n と、の関係が $m > n$ となっており、前記所定の係止部品の長手方向の長さ m と、前記扉が施錠されている状況における前記所定のリールを構成する前記リールテープから前記カバーまでの最短距離 g と、の関係が $m < g$ となっていることを特徴とする。

また、本発明に係る遊技機は、複数のリールと、複数のストップスイッチと、スタートスイッチと、遊技メダルを投入可能なメダル投入口と、遊技メダルが通過可能なセレクトアを備え、セレクトア内部のブロックが第 1 態様となっている場合は、セレクトア内部を通過するメダルがホッパーに導かれられないよう構成されており、セレクトア内部のブロックが第 2 態様となっている場合は、セレクトア内部を通過するメダルがホッパーに導かれ得るよう構成されており、スタートスイッチの操作が検知されることによりスタートスイッチの操作が受け付けられ、内部抽せん手段による内部抽せん結果として所定の結果が決定され、全てのリールに対するリール回転制御が所定のタイミングで開始された状況下において、当該所定のタイミングでメダル投入口からメダルが投入された場合は、当該メダルがブロックに到達したときのブロックは第 1 態様となっているよう設計されており、前記所定の結果が決定された遊技において、最終停止操作となる所定のストップスイッチの操作が検知されることにより所定のストップスイッチの操作が受け付けられ、その後所定のストップスイッチの操作が特定のタイミングで検知されなくなった状況下において、当該特定のタイミングでメダル投入口からメダルが投入された場合は、当該メダルがブロックに到達したときのブロックは第 2 態様となっているよう設計されていることを特徴とする態様であってよい。